

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		にこり [放課後等デイサービス]		公表日		2026年3月20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	7		スペースは基準以上の広さを確保しています。個別活動・集団活動の人数を調整するなどの配慮をしています。	引き続き、こどもの人数や年齢により安全に過ごすためのスペースが十分でない時は個別活動と集団活動を調整するなどの配慮をしています。	
	2	職員の配置数は適切であるか	7		基準人員に加え、こどもの人数に応じて2~3名を配置していきます。	これからも安全面に配慮し、十分な人員配置を行っていきます。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7		絵カードや文字などで視覚的にもわかりやすいようにしています。出入口のドアの開閉などの補助や見守りを行っています。	わかりやすく、過ごしやすいように環境整備を行っていきます。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		日々情報共有を行い、朝礼・終礼にて確認をしています。	職員それぞれの気付きやニーズを共有し業務改善に努めます。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7		評価表の結果をもとに職員全員で会議を開き、保護者のニーズや意見を把握し、業務改善につなげています。	保護者の意向を把握し、よりよい支援を目指して業務改善に努めていきます。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7		ホームページ等で公開しています。		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		6		未実施。今後実施を検討します。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		定期的に社内研修を開催している。外部研修を受講した場合は内容を共有しています。	積極的に外部研修を受講できる機会を作っています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7		定期的なアセスメントの実施と、面談や保護者と日ごろの様子を情報共有して状況を把握し、適切な個別支援計画を作成しています。		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7		統一したアセスメントシートを使用しています。面談や行動観察などによりアセスメントを行い、適応行動の状況を図っています。		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		ミーティングを行い職員同士で様々な案を出し合い、個別支援計画をもとに計画的に活動プログラムを組み立てています。		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		個別支援計画に沿って個別レッスンと集団活動の内容を考え、成長や習熟度に合わせ意欲的に取り組むことができるよう工夫しています。	こどもの様子や習熟度に応じて内容を変更するなど柔軟な対応を含め、意欲的に取り組むことができるよう工夫していきます。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1	季節に合わせた活動を取り入れたり、長期休暇はいつもより長い時間過ごせるので平日できない活動を行うなど内容を工夫しています。		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7		個別支援計画に沿ったプログラムで、こどもの年齢や特性に応じた個別活動と集団活動を行っています。	今後も個別活動と集団活動を生かした支援を行っていきます。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		朝礼時に利用人数や支援内容、変更点などの確認を行い、常にフォローし合える体制を作っています。	職員全体での詳細な内容確認を行い、連携体制を整えていきます。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		終礼時に支援の振り返りや引継ぎ、次の日の打ち合わせなどを行っています。	支援の振り返りや気付き、改善点など共有し、職員全体での共通認識を徹底していきます。		
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		利用日ごとにすべての子どもの支援内容や面談内容など記録しています。	記録を継続し、支援の検証・改善に努めます。		

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断しているか	7		6ヶ月毎にモニタリングを行い、結果に応じた個別支援計画の見直しをしています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	6		ガイドラインに基づき「自立支援の日常」「生活の充実のための活動」「創作活動」「余暇の提供」の視点で活動プログラムを立てています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7		参加する機会は多くはないが情報共有や会議などからその子の状態や出来事を可能な限り把握して参画しています。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1	・送迎なしのため ・送迎をしていないので情報共有は少ない。保護者の方からの要望を受けて訪問は実施している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	-	-		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6		・児童発達支援センター利用の子どもが居る場合は保育所等訪問があり総理解がある。 ・必要に応じて情報共有を図っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	1	・中学生・高校生の利用なし	小学生までの利用となるため対象者がいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6		・事業所連絡会への参加や事業所間連携を通じてアドバイスをいただいています。	適宜連携を図り、より専門性を高めていくことに努めます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	5		日程調整が難しく、交流の機会を設けることができませんでした。今後は地域の中で様々な交流が持てるように計画していきます。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		2	・要請があれば参加する体制があります。	今後は意欲的に参加を検討していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		・支援後のフィードバックやLINEでの情報共有、面談で共通理解できるよう努めています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	4	・教室内の掲示やLINEで情報提供を行っています。	今後保護者のニーズを把握し、教室での家族支援プログラムなどの実施を検討していきます。
保護者への説明等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7		・利用契約時に重要事項説明書に沿って説明をしています。 ・支援プログラムはパンフレットを見ていただきながら、内容の説明をしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		・個別支援計画作成前に保護者面談を実施し、こどもの状況や家族の意向を確認して作成しています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援をしているか		6		保護者の方向士が連携がしやすくなるような内容を検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		・相談や申入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。 ・苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	3	・LINEやインスタグラムで配信しているが紙などでは発行していない。 ・日々のFBは行っている（口頭や家庭の希望によりLINEなど）が会報はなし	利用日時の確認や欠席連絡・振替連絡などはLINEを活用し、連絡を取りやすい体制にしています。こどもの様子はInstagramやLINEにて動画や写真で共有しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	7			個人情報に記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しています。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		・ことばと共に視覚的にわかりやすくなるように写真や絵カードを提示する、子どもの意思表示に際してカードを利用するなど、伝わる方法や意思疎通の方法をお子さまや保護者の方に合わせるようにしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		7		定期的に行事等開催することを検討します。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1	・社内研修を実施し、各マニュアルの読み合わせや訓練を実施しています。	わかりやすく周知徹底するために、教室内に掲示し、誰もが確認できるようにします。
	39	非常災害時の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1	・定期的な避難訓練を行い、安全確保・避難経路・災害用伝言ダイヤルなど非常時の対応を説明しています。	今後も業務改善計画の内容を熟知し、定期的な訓練を行い、非常時に備えます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7		・外部研修の参加の他、事業所内でも研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7		・身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性があることを条件に行うことを職員の共通認識とし、行った場合は記録に残すことにしています。また、保護者の方にはそれらを契約書の別紙にて説明しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1	・事前に保護者に確認し、食物アレルギーがある場合は医師の指示書の提出をお願いしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		・危険な事例があった場合、特定の報告書に記載しミーティングにて事実確認と共有、今後の対策を協議しています。	